

令和3年度 第6回 政策決定会議 会議録③

-
- ◆開催日時：令和3年10月29日（金） 9：40～10：00
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、戎井副市長、大下教育長
-

◆審議事項

- ・木材港地区貯木場利活用ビジョン案について・・・・・・・・・・産業政策課⇒承認
-

◆審議概要

『木材港地区貯木場利活用ビジョン案について』

〈説明者〉前田魅力創造部長、上東産業政策課長、公文担当主幹、中島担当長、藪担当員

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案どおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉都市構造を改革していくプロジェクトであり、今回ビジョンという形が出来上がって、国や大阪府にアピールできるようになった。次期総合計画にも位置づけておくこと。

「国家的プロジェクト」となるよう大阪府と連携し、様々な事業と関連付け、柔軟に対応できるよう各省庁に働きかけていくように。

〈戎井副市長〉大阪府との協議の際には、忠岡町と同行するなど歩調を合わせて進めるように。国家プロジェクトレベルにしていくほうが経済効果も大きくなるので、大阪府を巻き込んで進められたい。

〈市長〉様々な主体を巻き込み、最終的な完成は先になるが、それまでの過程での変化一つ一つをビジネスチャンスと捉えてもらえるよう、一步一步進んでもらいたい。わかりやすく明確で、共感を抱いてもらえるような提案をし、民間に期待してもらうことが重要である。

〈魅力創造部長〉産業政策課から、市民を含めたワークショップの設置など本ビジョンをさらに精緻化するものを、来年度の予算として要求している。本ビジョンをベースに、意見をいただきながら、詰めていきたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案のとおり承認する。

令和3年 10 月 19 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	木材港地区貯木場利活用ビジョン案について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	<p>遊休水面となっている木材港地区の貯木場(約 76ha)は、交通利便性や市街地近接性等を踏まえるとポテンシャルは非常に高く、新規土地造成による産業用地の創出及び地域経済を支える研究機関・企業の誘致など、地域振興につながるエリアとして期待されています。</p> <p>そこで、将来における貯木場を中心とした木材港地区の有効活用に向けて、当該地区を町域に含む忠岡町の意見も踏まえて、貯木場利活用ビジョン案を策定したので、政策調整会議に付議します。</p>
説明者	上東産業政策課長、公文企業経営支援担当主幹 中島港湾振興担当長、藪担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和3年度 第6回会議
付議事項	木材港地区貯木場利活用ビジョン案について

★取組の目的

対象	事業者、市民
どのような状態を目指す	遊休水面となっている木材港地区の貯木場(約76ha)を有効活用し、新規土地造成による産業用地の創出及び地域経済を支える研究機関・企業の誘致などにより、本市の産業振興及び雇用創出等につなげる。

★総合計画上の位置付け

106010103	基本目標	I-6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)多彩な地域特性を活かした景観や拠点が形成されている
	目指す成果	①拠点の整備が計画的に進んでいる
	行政の役割	ウ 港湾機能の充実を図る

★現状と課題

遊休水面となっている木材港地区の貯木場(約76ha)は、交通利便性や市街地近接性等を踏まえるとポテンシャルは非常に高く、新規土地造成による産業用地の創出及び地域経済を支える研究機関・企業の誘致など、地域振興につながるエリアとして期待されている。

木材港貯木場利活用ビジョン策定のために実施した各種調査の結果からは、貯木場の埋立・利活用は岸和田市域・忠岡町域を超えた大阪都市圏の持続的な発展や都市活動を支えるビッグプロジェクトに位置付けられるべき事業となるポテンシャルを有していることがわかった。そのため、今後、事業化に向けて、引き続き利活用に向けた調査・検討をすすめるとともに、大阪府及び忠岡町と協議を進め事業主体及び役割分担等を決定する必要がある。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
木材港地区貯木場利活用ビジョン策定			3,000					
木材港地区貯木場利活用計画策定調査				9,000				
R5年度以降の取組事項は、大阪府及び忠岡町との役割分担等に係る協議等に基づき決定する								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源			3,000	9,000			
	その他							
事業費			計	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			9,000	9,000	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
有					
無					

*R5年度以降の人員は、大阪府及び忠岡町との役割分担等に係る協議等を踏まえ検討

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R1年度	R2年度	R3年度	目標値				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
① 土地利用計画など事業の方向性が確定次第、設定予定									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。